

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和4年 2月 28日

事業所名: あいの葉

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				学年や成長に利用者の希望に合わせた過ごし方ができるよう、場の作り方を検討している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			業務分担を行うと共に、打ち合わせを基に協力体制を作っている。定期的に目標の見直し振り返りを行いながら、意識の向上に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			頂いた意見を参考に改善に取り組む。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○			ホームページに掲載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				外部研修など広く参加していくとともに、利用者に即した事例研修等内部での取り組みを活発にしている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			既存のツールについて職員で検討し従来のアセスメント内容を、分かりやすい表記・詳細把握したい内容等見直し随時更新している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				ミーティングなどで活動計画を話し合うとともに、個別評価などで挙がった課題をクリアするための取り組みについて職員間で検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				季節の行事や活動を取り入れるとともに、活動の中身を目的別に分け、成長に合わせて系統性を持たせる工夫をしている。活動後の反省を生かしながらの支援となるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				一定の生活リズムの定着と身辺自立を目的とした生活の流れを実践している。余暇の過ごし方、利用者の目的意識や意欲に働きかける工夫に努めたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				円滑に支援が行えるよう話し合いを設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				翌日の午前中に前日の報告と当日の打ち合わせを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				お預かり後記録に記入している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				保護者との面談を行い判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○			ガイドラインの周知を繰り返し行っていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				児童発達支援管理責任者が参加している。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				送迎時に先生と話をしたり、保護者の許可のもとに電話などの情報交換や支援のアドバイスを受けたりしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在、建物の構造上受け入れを行っていない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			就学移行前に情報共有できるよう努めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			情報収集と関係機関との連携に努めていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			連携していけるよう努める。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		外出活動の際などしかないが、感染症対策に鑑みながら機会が作れるよう努力する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		担当者が参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳や送迎時に児童の状況を伝えるほか、電話などで状況を伝えたりご相談を頂いている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			実施していないため、保護者の方の意見も取り入れ支援できるよう努める。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時や見学・体験時に説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				相談があった際に随時対応している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		感染症対策に鑑みながら機会が作れるよう努力する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談時も含めて迅速に対応できるよう努めている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				行事・活動予定などを定期的に文書でお知らせすると共に、活動の様子をインスタグラムなどで紹介している。
	35 個人情報に十分注意しているか	○				同意書を作成し契約時に説明している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		感染症対策の状況を鑑みながら実施できるよう努める。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				施設内掲示を行っているが、都度ごとの職員間での確認二把握に努める。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				活動に組み入れながら、避難経路や備えの確認に努めている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				マニュアルを作成し繰り返し周知に取り組んでいく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				現在までに対象者がいないため、必要なサインを行う。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			アセスメントの段階で聞き取りを行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			ヒヤリハットの事例や利用者の既往症の把握と発作時対応も含め、既存のマニュアルで熟知し対応訓練に努めていきたい。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。